

# 「地域を生きる」

鳥取大学地域学部では、「地域学」を学ぶための基幹的な講義として1年次に「地域学入門」、3年次に「地域学総説A」「地域学総説B」「地域学総説C」を開設しています。2019年度はこれらの講義のなかで、地域づくりや地域研究に対する本学教員の取り組みの一部と外部講師による地域での実践活動を紹介するパートを一般公開授業とします。学生・教員・地域の方々が一堂に会して共に地域学を学び、共に地域づくりを考えたいと思いますので、是非ご参加ください。

なお、受講の際に支援の必要な方は、事前にご連絡ください。

## 公開対象の講義・場所

### 「地域学入門」 (1年対象・水曜2限)

…6月19日(水)より全5回

共通教育棟2階 A20大講義室

### 「地域学総説A」 (3年対象・水曜5限)

…4月24日(水)より全5回

共通教育棟2階 A20大講義室

### 「地域学総説B」 (3年対象・水曜5限)

…6月26日(水)より全2回

共通教育棟2階 A20大講義室

※場所を変更する場合があります。その際には掲示にてご案内いたします。

## 問い合わせ先

鳥取大学地域学部庶務係 TEL.0857-31-5073



参加無料  
申し込み不要



お車でのご越しの場合は、第1駐車場をご利用ください。講座の受付時にサービス券を発行しますので、駐車券を会場までご持参ください。

## 地域学入門 (10:30~12:00) 場所: 共通教育棟2階 A20大講義室

テーマ 地域で生きるということ		
	講師	講義テーマ
6月19日	みやさだあきら 宮定章 (認定NPO法人まち・コミュニケーション代表理事)	災害後の地域づくり —阪神・淡路大震災・東日本大震災・被災者に接して学んだこと—
6月26日	みつひろむね 三橋弘宗 (兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)	どうしたら自然を守れると思いますか?
7月 3日	しらわたかこ 白岩高子 (特定非営利活動法人コーナス代表理事/ アトリエコーナス施設長)	地域で生きる —アトリエコーナスの軌跡と奇跡—
7月10日	あくたがわじん 芥川仁(写真家)	中山間地で撮る —リトルヘブンとは何か—
7月17日	なかがいむねはる 中貝宗治(豊岡市長)	豊岡の挑戦 —Local & Global—

●6月19日から7月17日までの5回の講座につきましては、講座終了後の昼休みを利用して昼食をとりながら外部講師との交流会を開催します。参加ご希望の方は大学生協ショップ等で弁当をご用意のうえ、12時20分までに地域学部棟1階大会議室にご集合ください。

## 地域学総説 A (16:30~18:00) 場所: 共通教育棟2階 A20大講義室

テーマ 想像力としての地域学		
	講師	講義テーマ
4月24日	まつもとかおる 松本薫(小説家)	「普通」という呪縛 —時代の子としての文学—
5月 8日	やましきともや 山舗智也(連続起業家)	シリコンバレーからみる日本 —「ニーズ」から考える価値—
5月15日	たんまやすひと 丹間康仁 (帝京大学教育学部准教授/生涯学習・社会教育学)	学校統廃合からみる地域と子どもの教育のいま
5月22日	まつながはるこ 松永晴子(NPO国境なき子どもたち職員)	「居場所」をつくる —難民キャンプにおける情操教育の現場から—
5月29日	はなぶさ 額瀬あや(映画監督)	大切にしてきたもの、大切にしたいものをえがく —生きものと日々接する人々の暮らしから—

## 地域学総説 B (16:30~18:00) 場所: 共通教育棟2階 A20大講義室

※場所を変更する場合があります。その際には掲示にてご案内いたします。

テーマ 暮らしの場からの再検討		
	講師	講義テーマ
6月26日	はっとりしんじ 服部真治 (鳥取大学地域学部特任教員、 医療経済研究機構研究部主任研究員 兼 研究総務部次長/ 介護保険制度、地域包括ケアシステム)	暮らしの場の規定要因の検討② —制度と生活の間で(地域包括ケアを中心に)—
7月 3日	おおすみかつひろ 大住克博 (鳥取大学農学部フィールドサイエンスセンター/林学)	暮らしの場の規定要因の検討③ —自然と人間の関係史(森林を中心に)—

■参考文献(地域学入門・地域学総説共通です)

『地域学入門—くつなぎ—をとりもどす』 ミネルヴァ書房、2011年刊

